

(証券コード：6594)
<https://www.nidec.com>

2023年3月期 第2四半期

決算説明会

日本電産株式会社

Nidec
→All for dreams



2022年10月24日

ニデック株式会社

日本電産株式会社は2023年4月1日に「ニデック株式会社」に社名変更します

－ 注意事項 －

本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれています。この将来予測に基づく記載や発言は、為替変動、製品に対する需要変動、各種モータの開発・生産能力、関係会社の業績及びその他のリスクや不確定要素を含みます。本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答に含まれる全ての将来的予測に基づく記載や発言は、プレゼンテーションの日に入手可能な情報に基づいており、私達は、法令に定めのある場合を除き、このような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。また、この記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、私達の現在の期待とは、実体的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となり得ます。これらの要素やリスクについては当社の継続開示及び適時開示等の記載をご覧ください。

表紙の写真は、2022年9月に量産を開始した当社EV用トラクションモータシステム「E-Axle（イーアクスル）」の第2世代（Gen.2）100kWモデルです。E-Axle Gen.2は、Gen.1の開発、量産を通じて当社が培った磁気回路設計技術、油冷技術等のノウハウを元に、さらなる軽量化・静粛性を両立させています。

■ 連結決算業績



(百万円)	21年度 第2四半期 (累計)	22年度 第2四半期 (累計)	増減率	22年度 通期見込
売上高	910,668	1,130,767	+24.2%	2,100,000
営業利益	89,144	96,368	+8.1%	210,000
営業利益率	9.8%	8.5%	-	10.0%
税引前利益	87,103	118,375	+35.9%	206,000
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	66,612	86,649	+30.1%	165,000
一株利益 (円)	113.79	150.31	+32.1%	286.65
配当金 (円)	30.00	35.00	-	70.00
対米ドル為替レート 平均…	109.80円	133.97円	+22.0%	<想定レート> 米ドル=110円
期末…	111.92円	144.81円	+29.4%	ユーロ=125円 (下期想定レート)

為替感応度：1円あたり米ドルは売上高100億円、営業利益11億円、ユーロは売上高19億円、営業利益4億円 (全てFY22通期ベース)

3

■ 2022年度2Q決算ハイライト

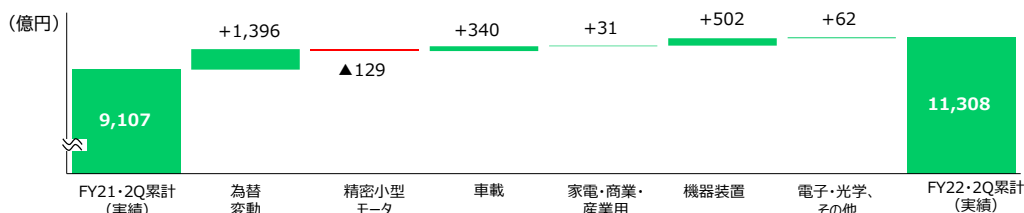


- 連結売上高は、前年同期比24.2%増収の1兆1,308億円となり、2Q累計で**過去最高を更新**。
- 営業利益は、前年同期比8.1%増益の964億円となり、2Q累計で**過去最高を更新**。
- 税引前利益は前年同期比35.9%増益の1,184億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比30.1%増益の866億円となり、いずれも2Q累計で**過去最高を更新**。
- 2Qの売上高、営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益はいずれも四半期で**過去最高を更新**。

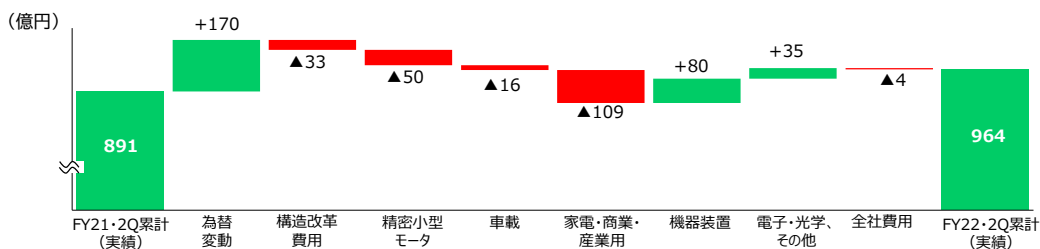
4

■2022年度2Q（累計）の前年同期比増減分析

【売上高】

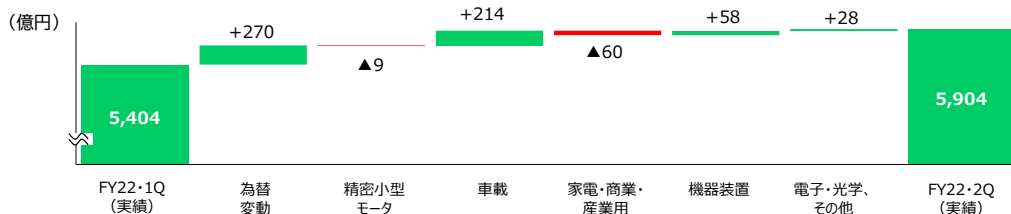


【営業利益】

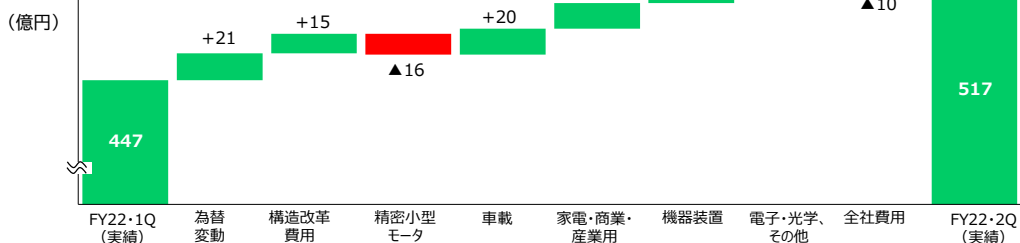


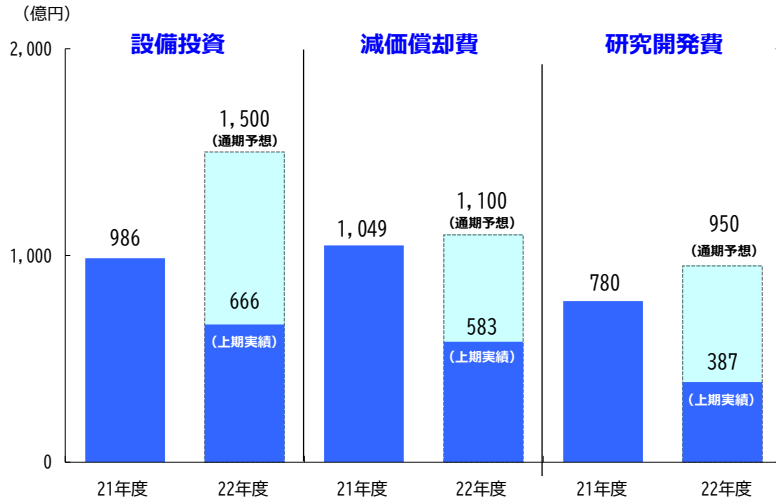
■2022年度2Q（3ヶ月）の直前四半期比増減分析

【売上高】



【営業利益】





中長期成長を
支える積極投資
は今後も継続

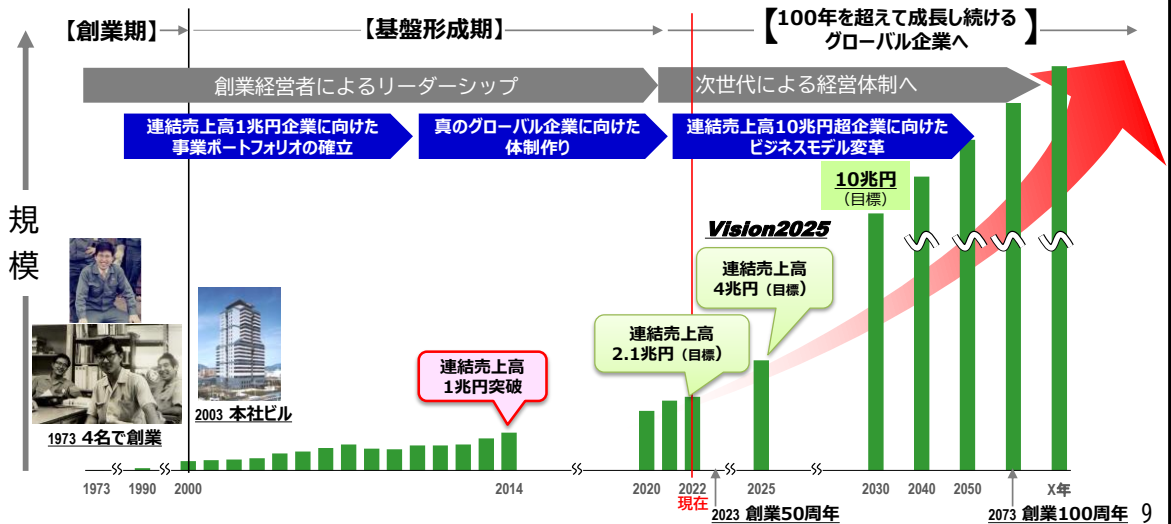
中期戦略目標

Vision 2025

■ **Vision2025** : 更なる変革、Visionを手繰り寄せる経営！



創業経営者のリーダーシップによる基盤形成期を経て、次世代経営者による新体制へと脱皮



■ **Vision2025** 中期戦略目標の骨子：事業ポートフォリオマネジメント



成長事業への積極投資による高い成長率を実現

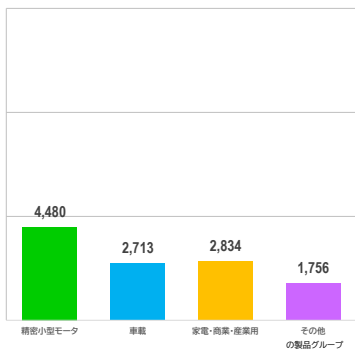
2015年度
売上高：1兆1,783億円

2021年度
売上高：1兆9,182億円

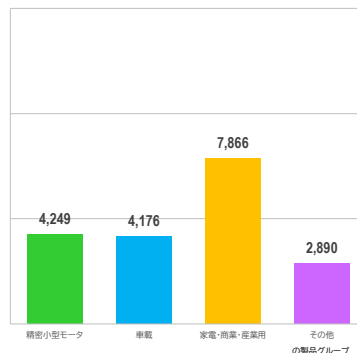
2025年度
売上高：4兆円
(目標)

■ 精密小型モータ ■ 車載 ■ 家電・商業・産業用 ■ その他の製品グループ

(売上高：億円)



(売上高：億円)



(売上高：億円)

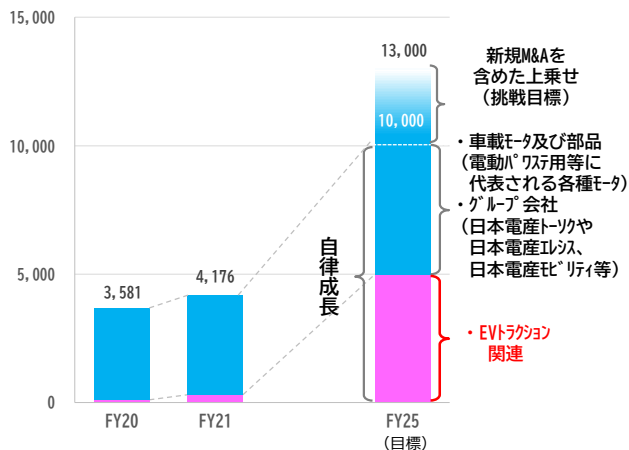


■車載：高成長への打ち手

CASE革命による旺盛な電動化需要を待ち伏せし世界No.1の車載ハードウェア企業を目指す

【車載の **Vision2025**】

(売上高：億円)



【EVトラクション関連】

- FY22・9月からステランティス合併によるE-Axleの量産を開始。欧州の環境規制を追い風に受注が進展 (FY30まで)。
- 中国では現在の2大顧客に加えて、新たに重要顧客3社を加えた**5大顧客体制**を確立。新規受注も進展。

【車載モータ及び部品】

- FY22の市場環境は徐々に回復基調。
- 一方、原材料の高騰は当面続くため、**売価への反映や原価改善等**を通じた収益構造の更なる改善を急ぐ。

■車載：NEV先進国である中国と欧州の電動化が顕著

自動車販売台数予測 (当社推定)

* NEV (New Energy Vehicle)：ここではEV+PHVを指す。

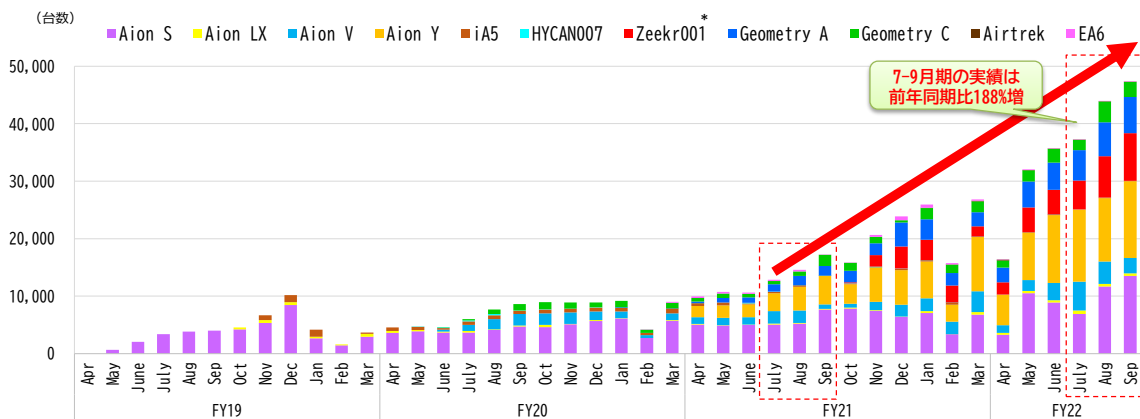


■ 車載：当社E-Axle搭載車種の販売状況

当社E-Axle（トラクションモータシステム）採用車種の販売台数は、累計で約547千台超

【当社E-Axle採用車種の販売実績】

(出所：Marklines)

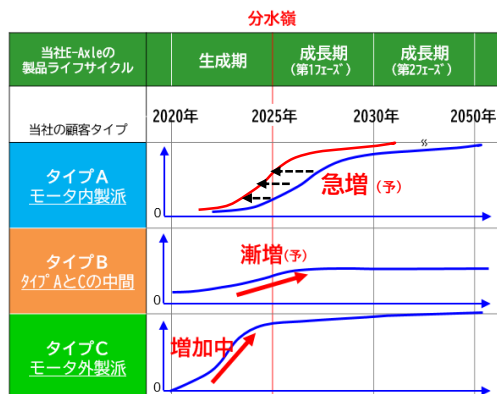


*一部、内製E-Axleを使用

■ 車載：欧州OEMによるE-Axle調達スタンスの変化

パワトレ内製派であった欧州OEMのE-Axle外部調達が早まる予兆

【各顧客層によるモータ外部調達の動向予測】



(当社FY21Q2決算説明会スライドP.14から一部更新)

欧州OEMによる外部調達前倒しの兆し

現在EVトラクションモータを内製している欧州大手のOEMから、ソーシング打診のアプローチ。

背景

- ① 中国OEMとのEV価格の競争が熾烈化 (中国からのEV輸出は拡大傾向)
- ② 欧州OEMによるE-Axle内製品の相対的コスト高

■ 車載 : Nidec PSA emotors でのE-Axle量産が9月からスタート!

将来の大きな成長を見据えた合併事業が始動

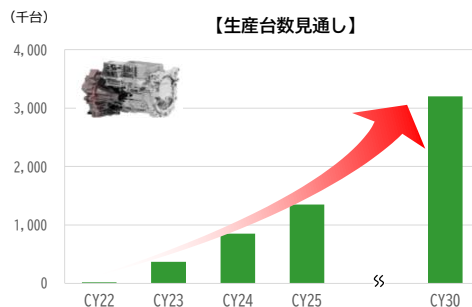


EMOTORS 【会社概要】

会社名	Nidec PSA emotors
出資比率	Nidec Leroy-Somer Holding 50% Stellantis (IEPSA) 50%
設立日	2018年5月
本社/開発拠点	キャリエール・ス・ボワシー、フランス
生産拠点	トレムリー、フランス
事業内容	EVトラクションモータ及び電子制御器の開発・生産・販売



【生産台数見通し】

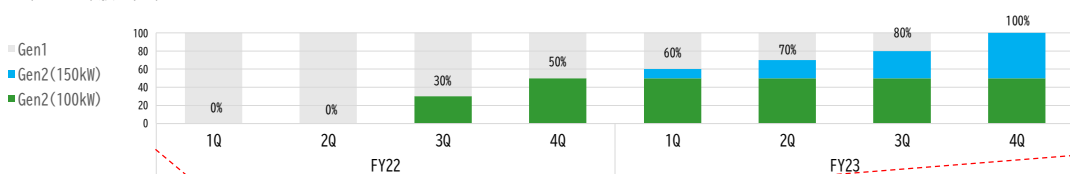


■ 車載 : E-Axle Gen2への転換見通しと次世代プラットフォーム開発計画

競争に先んじて新製品開発の連打を繰り返し、高い競争優位性を持続する

(Gen2への転換比率:%)

【当社E-Axle (100kW/150kW) のGen2転換率目標】



【量産】E-Axle 第1世代

テーマ：スピーディな参入を優先、市場シェア拡大



【量産】E-Axle 第2世代

テーマ：更なる性能アップと原価低減の飽くなき追求

<重点要素>

- 重希土類フリー
- 低コストIGBT
- ノイズ・振動低減設計ギヤ
- 金型・巻線の生産技術改良
- 内製モータベンチの活用

【量産】E-Axle 第3世代

テーマ：分水嶺後の高成長期を勝ち抜く圧倒的な競争力



【量産】E-Axle 第4世代

テーマ：マグネット・フリー

「NEDOグリーンイノベーション基金事業(経産省)」に採択

■車載：E-Axleの生産能力

E-Axleフラッグシップ工場では組立の他、部品事業も集約したEV専用一貫生産を目指す

【当社E-AxleのFY25時点の製造能力（年間台数）】



Nidec PSA emotors

E-Axle 年間150万台



Nidec Electric Motor Serbia

車載モータを生産
(将来的にE-Axleの生産も検討)



日本電産（大連）有限公司

E-Axle 年間100万台

その他地域（複数）で
年間約130万台を予定



広州尼得科自動車
駆動システム

E-Axle 年間100万台



フラッグシップ工場
(浙江省・平湖)

E-Axle 年間100万台



日本電産東洲（浙江）

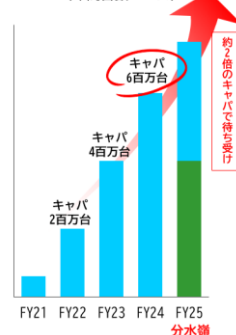
E-Axle 年間40万台



日本電産自動車
モータ（浙江）

E-Axle 年間80万台

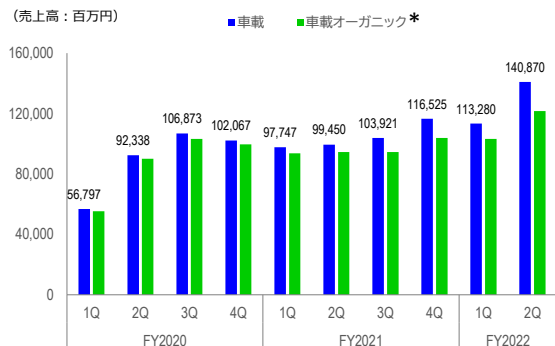
【E-Axleの生産能力計画】
(年間台数ベース)



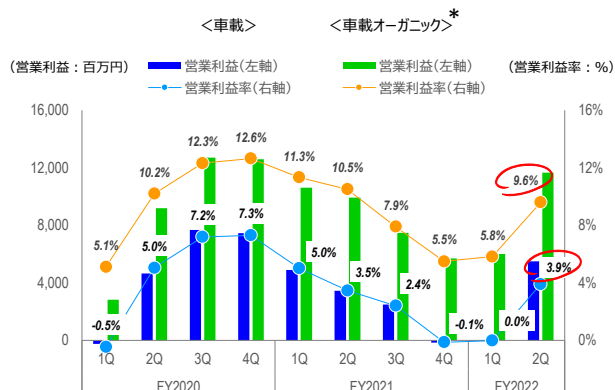
■車載：四半期別業績推移

原材料高騰や中国ロックの影響が足許収益圧迫も、FY21Q4をボトムに反転攻勢へ

【売上高の推移】



【営業利益額と営業利益率の推移】

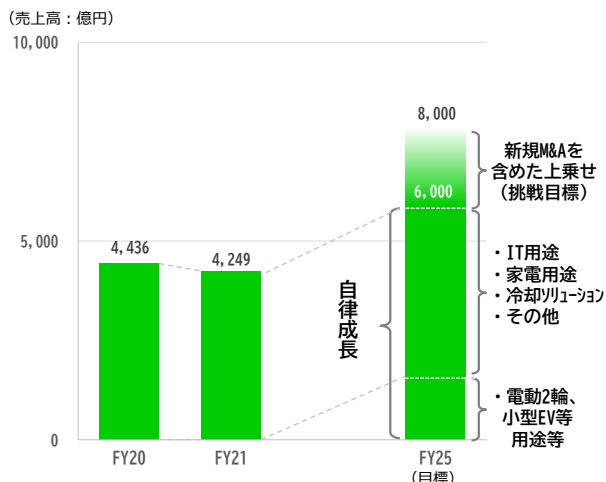


*車載オーガニック…車載から、EVトラクションモータ事業による業績影響を除外したものの。

■精密小型モータ：セグメント内の事業ポートフォリオ転換を加速

2輪車・小型車分野でも電動化へのパラダイムシフトが急速に進展中。順調に受注を獲得

【精密小型モータのVision2025】



【電動2輪・小型EV関連】

- インド・中国の2大市場を重点攻略。
- FY22は、計11案件の量産を予定。
 - 電動2輪関連：計6案件*
 - 小型EV関連：計5案件

【主な製品】

電動バイク用インホイールモータ

EVトラクションモータ インバータ

【量産工場】

日本電産(浙江)有限公司

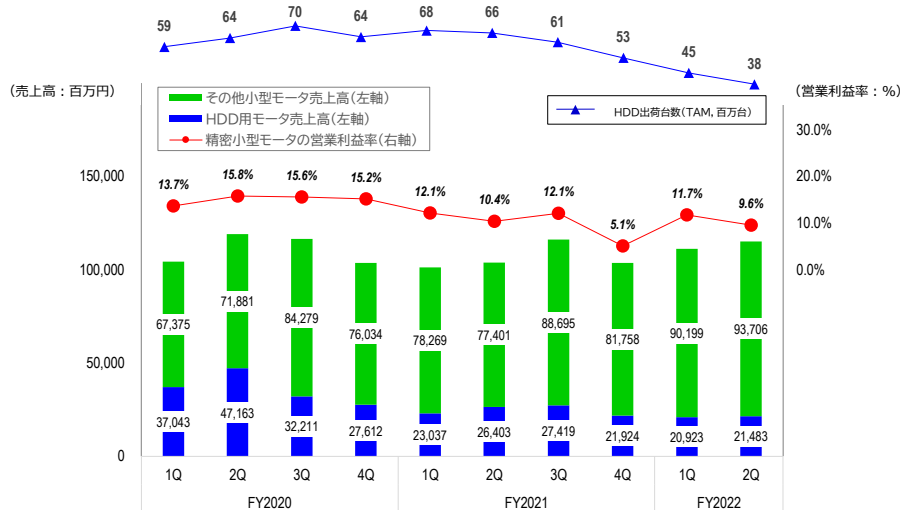
工場の新増床面積を現状の2倍へ拡張

インド日本電産

* FY21下期より量産開始済の「Yadea社・換電器 01」案件、並びにインドの大手現地バイクメーカー向け案件を含む。

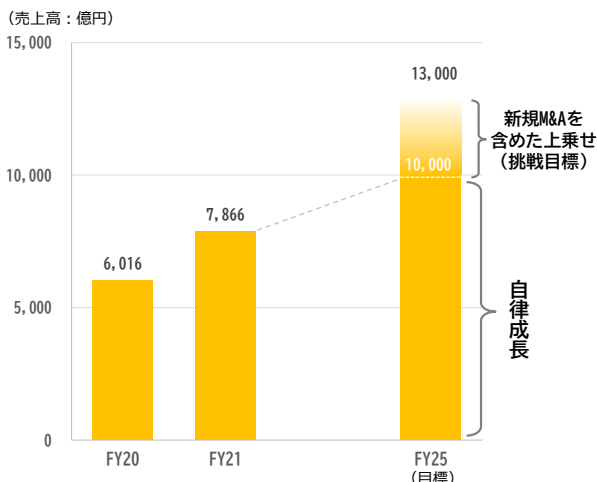
■精密小型モータ：四半期別業績推移

HDD用モータ市場の構造変化のなか、事業ポートフォリオの転換を断行中



海外事業の構造改革を着実に実行しつつ、家電・商業・産業用は新たな成長ステージへ

【家電・商業・産業用の **Vision2025**】



【FY22の事業環境】

- FY22は紛争に揺れる**欧州域外での市場シェア増**や、発電機・電力貯蔵システム・EV車向けバッテリーチャージャー等のスリー新を加速。
- 空調関連は、**商業用途を軸**にグローバルで全方位に拡大。
- 車載と同様、原材料の高騰は当面続く予想。**売価への反映や原価改善**を通じた収益構造の更なる改善を急ぐ。

【成長ドライバー】



脱炭素社会への取組みが加速するなか、需要旺盛なBESS*市場のグローバルリーダーを目指す

*バッテリーエネルギー貯蔵システム

【設立する合併会社の概要】

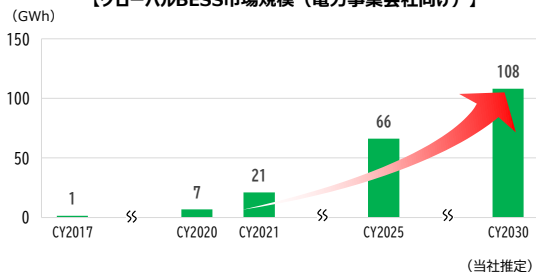
会社名	今後決定予定
本社	オスロ市、ノルウェー
設立	2022年10月～12月 (予定)
事業概要	バッテリー製品の開発・製造・販売
代表者 (CEO)	Dominique Llonch(予定)
株主構成	Nidec 66.7%, Freyr 33.3%

- Nidecはこれまで、欧州や南米・アフリカなど世界21の国と地域でBESS事業を展開し、121の案件を手掛け、通算1.3GWの電力貯蔵システムを提供する世界をリードするソリューションプロバイダーの1社です。
- 直近では2022年3月に英国スコットランドで129.8MWの電力貯蔵システムを受注するなど、今後もEMEA、北米、中国を中心に同事業の更なる拡大を計画しています。

【Freyr社の概要】(www.freyrbattery.com)

会社名	FREYR BATTERY SA,
本社	ルクセンブルク
設立	2018年
上場	ニューヨーク証券取引所 (2021年, FREY)
代表者 (CEO)	Tom Einar Jensen
製造拠点	モー・イ・ラーナ市 (建設中、2024 年稼働予定)
事業内容	半固体リチウムイオン電池セル製造・販売

【グローバルBESS市場規模 (電力事業者向け)】



(当社推定)

Nidecの革新的なバッテリーエネルギー貯蔵システム (BESS) が世界中のプロジェクトで活躍

【再生可能エネルギーによる電力の貯蔵】



風力発電用途

太陽光発電用途

水力発電用途



再生可能エネルギー活用は蓄電技術が鍵！

【EV充電器】



パワーセーフ1.0

22kW AC充電器

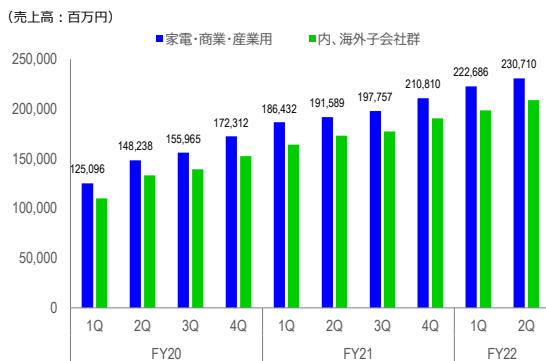
【サーキュラーエコノミー関連】



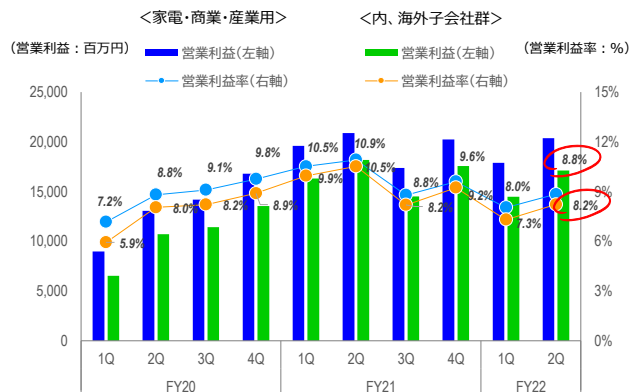
仏ルノーグループとのEV用バッテリー再利用プロジェクト

欧州需要減や原材料価格高騰による足許逆風は継続も収益性15%達成への活動は継続中

【売上高の推移】

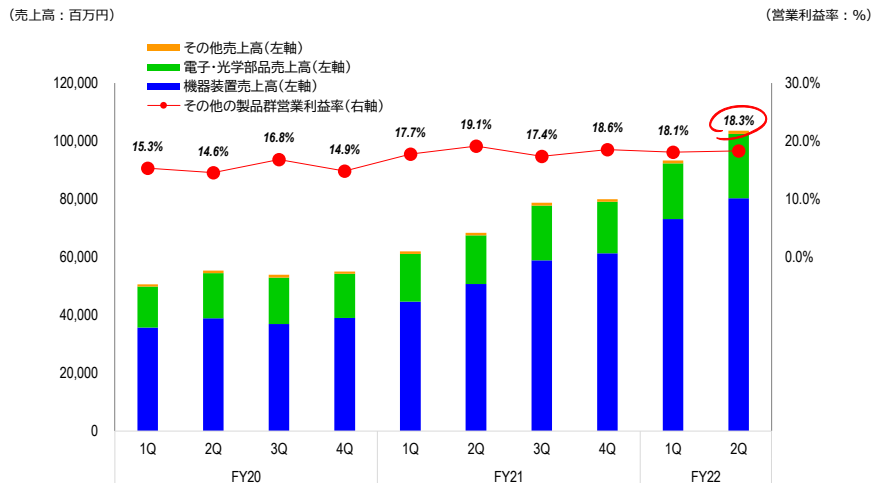


【営業利益額と営業利益率の推移】



■その他の製品グループ：四半期別業績推移

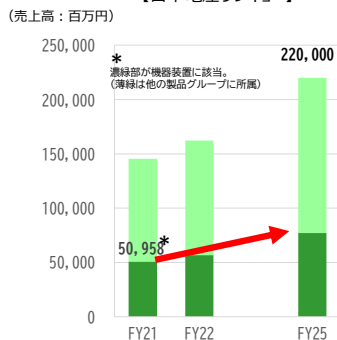
その他の製品グループの営業利益率はFY21以降、15%超の水準で安定推移



■その他の製品グループ：機器装置を構成する主なグループ会社群

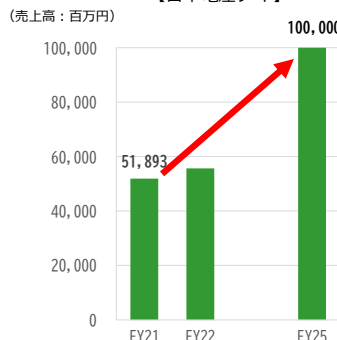
高い収益性を伴った成長分野として **Vision2025** に大きく貢献

【日本電産サンキョー】



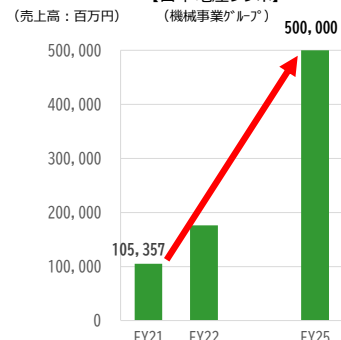
- 産業用ロボット事業の拡大
(車載・5G需要による半導体投資の必需設備)

【日本電産リード】



- 基板検査装置事業の拡大
- 消耗品事業の拡大
- 光学検査装置事業の拡大
- スリー新
(EVトラクションモータ関連検査装置等)

【日本電産シンボ】

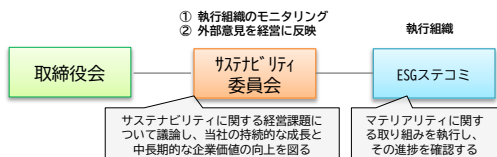


- 工作機械（自律+M&A）事業の拡大
- プレス機事業の拡大
(主要ブランドによる協業生産・販売の強化)
- 減速機事業の拡大
(6軸多関節ロボット用減速機の市場シェア拡大)

■ ESG経営：サステナビリティ委員会の創設*

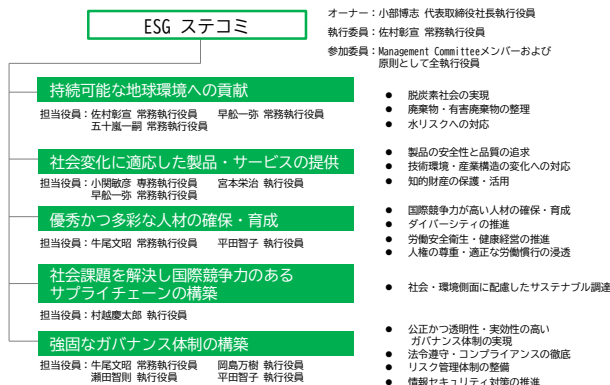
サステナビリティ委員会を取締役会内に設置し、ESG経営の執行をモニタリング

ESGマテリアリティSteering Committeeを管理・監督する会議体として取締役会の内部にサステナビリティ委員会を創設。本委員会の運営を通じて、より長期的かつ幅広い視野を確保し、「100年を超えて成長し続けるグローバル企業」という当社の理想の姿からバックキャストで現状の課題を抽出し、取り組みを推進することで、当社経営のサステナビリティを高めていく。



- サステナビリティ委員会は、ESGマテリアリティSteering Committeeのモニタリングおよび多様なステークホルダーの意見を経営に反映させる役割を果たすため、**取締役5名（内3名が社外取締役）の委員で構成**。
- 各委員は、人材開発、法務・コンプライアンス、財務・会計、国際性・グローバル経験、環境・社会、ガバナンス・リスク管理といった経験・専門性を備える**多様性に富んだメンバーで構成**しているため、多岐に渡る観点からの議論が期待できる。

【ESGマテリアリティ Steering Committee (ESGステコミ) 体制図】



* 2022年8月6日の取締役会にて取締役会の任意諮問機関としての設立を決議。 27



お問い合わせ先
 日本電産株式会社 IR・CSR推進部
 Tel : 075-935-6140
 E-mail : ir@nidec.com

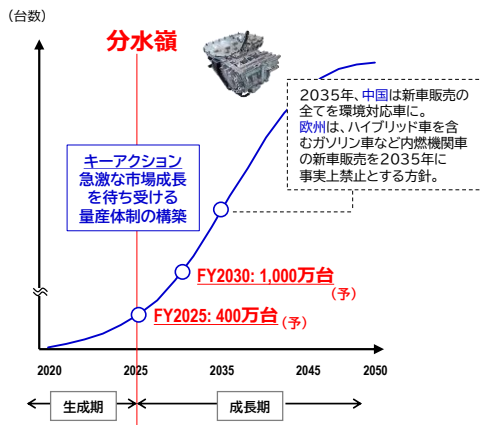
業績推移・ 製品グループ別状況

■車載：当社E-Axleの出荷台数見通しと競争力

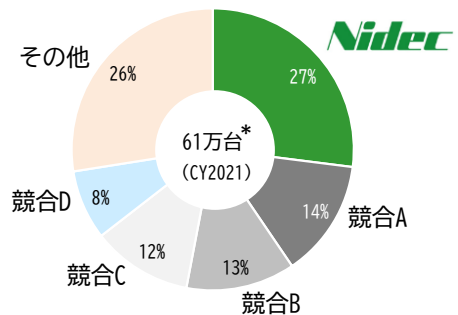


中国BEV市場におけるE-Axleの外製メーカーによる市場占有率で当社はNo.1！

【当社E-Axleの製品ライフサイクル】



【中国市場E-Axleの外製メーカーによる占有率】



(各種資料より当社推定)

*CY21の中国BEV市場は291万台。内、E-Axle搭載車種は145万台でOEMによるE-Axle内製は84万台、E-Axle外製は61万台と推定。

■コロナ後の新「5つの大波」

コロナ禍で露呈した人類共通の課題を解決する日本電産のソリューションビジネス群

5G & サーマルソリューションの波
(キーワード：触覚、手振れ補正、放熱モジュール)

脱炭素化の波
(キーワード：走る・曲がる・止まる、安全・快適、熱マネジメント)

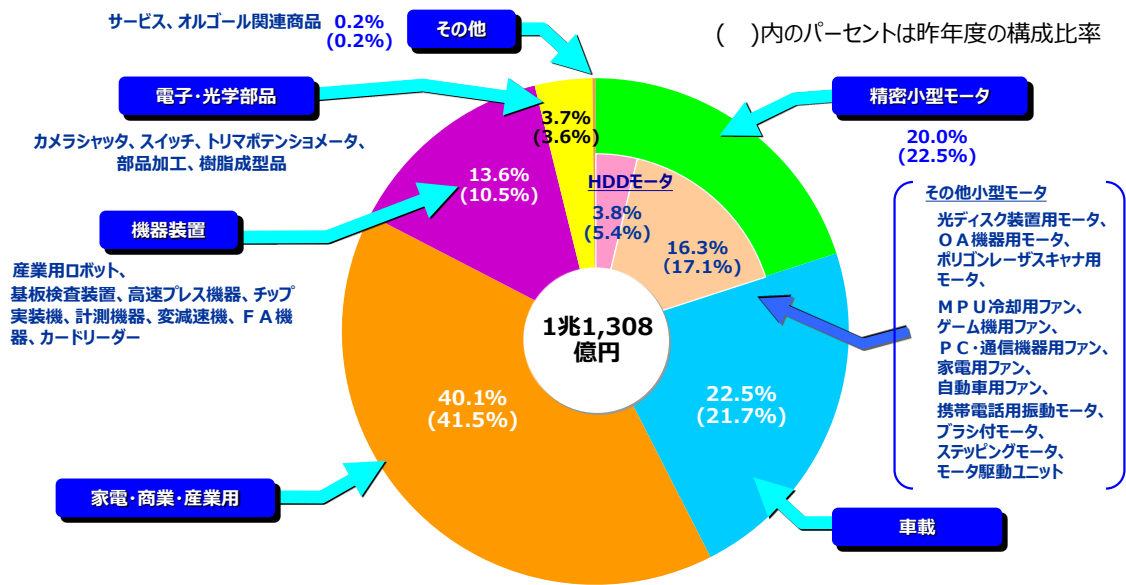
省人化の波
(キーワード：産業用ロボット、サービスロボット、物流)

デジタルデータ爆発の波
(キーワード：高速・大容量、GAFA、巣ごもり)

省電力化とコロナ後の波
(キーワード：殺菌、衛生、巣ごもり)

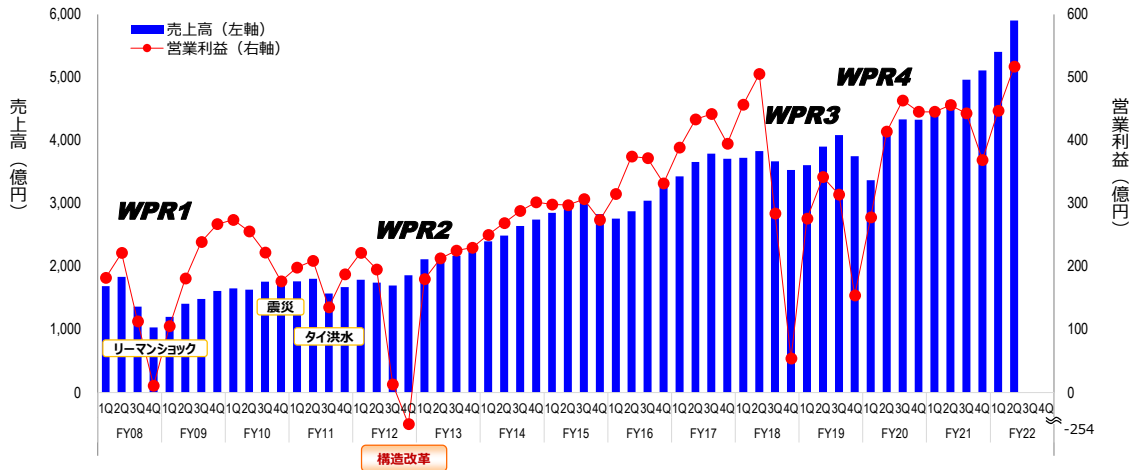
サービス、オルゴール関連商品 (0.2%) (0.2%)
その他 (3.7%) (3.6%)
電子・光学部品 (13.6%) (10.5%)
機器装置 (40.1%) (41.5%)
家電・商業・産業用 (22.5%) (21.7%)
車載 (3.8%) (5.4%)
精密小型モータ (20.0%) (22.5%)
HDDモータ (16.3%) (17.1%)
その他小型モータ (3.7%) (3.6%)

■22年度上期製品グループ別売上構成

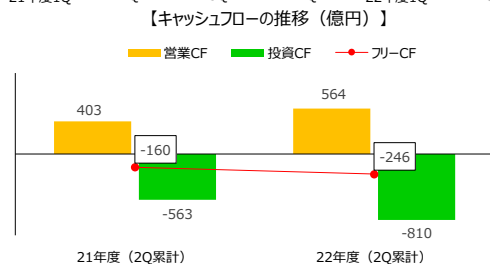
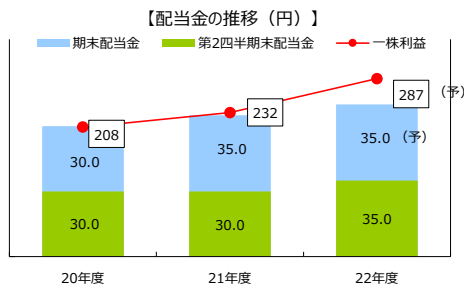
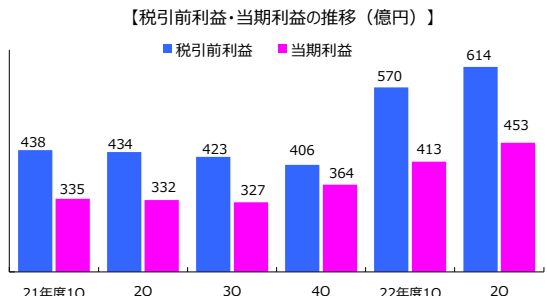
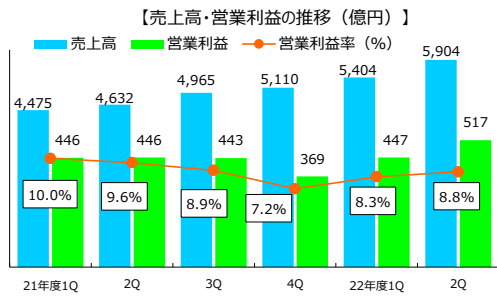


■ 四半期別の業績推移（売上高・営業利益）

WPR4 活動によるIT構造改革が奏功し需要回復と共に収益力の回復も着実に前進

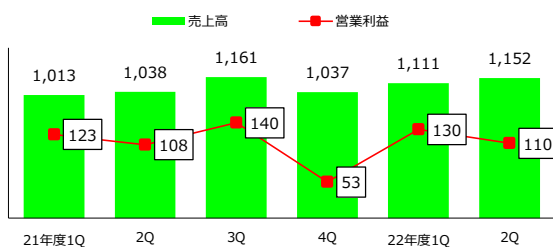


■ 連結決算ハイライト

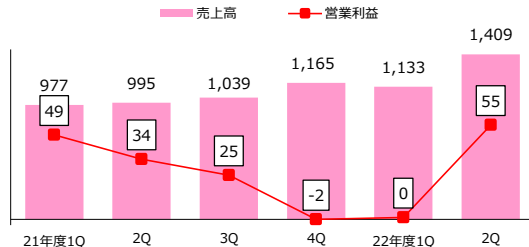


■製品グループ別業績推移

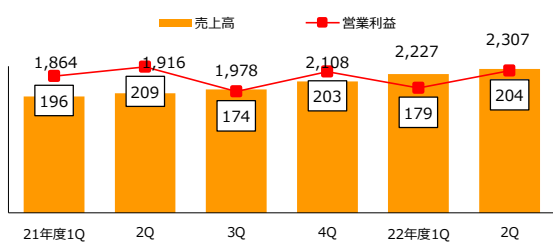
【精密小型モータ（億円）】



【車載（億円）】



【家電・商業・産業用（億円）】



【機器装置（億円）】

